2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会参画実習（Practice in Social Participation）		
ナンバリングコード	B10202	大分類 / 難易度 科目分野	教養教育科目 / 基礎レベル
単位数	1	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修･選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A033671	クラス名	－
担当教員名	矢野　達也		
履修上の注意、 履修条件	人間力の育成、地方創生の理解、就職に重要な科目ですので、積極的に受講して下さい。担任制の授業です。成果発表会には必ず出席して下さい。正当な理由がなく欠席した場合は、単位認定されないことがあります。 ・人間力を養う上で大切な授業となりますので、無遅刻・無欠席で受講して下さい。 ・ワークショップ時は、ディスカッションや作業などに積極的に参加して下さい。受け身の姿勢では意味がありません。		
教科書	知へのステップ　第5版－大学生からのスタディ･スキルズ－ （くろしお出版）学習技術研究会　編著 ※ 前期使用教科書		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	社会参画入門、社会参画応用（工・経）、社会参画実習2（工・経）、人間力概論ほか、すべての科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100%）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【ディプロマ・ポリシー①】	①地域への関心：地方自治体の身近な政策に関心を持ち、自分事にできる。 ②時間管理：ほぼ無遅刻、無欠席で授業に参加できる（規律性）。			20%
【ディプロマ・ポリシー②】	①情報収集・分析・課題発見力：インターネット等を用いて情報を収集、分析し、テーマの問題点や課題を見つけることができる。 ②チーム活動：チーム活動に取り組むことができ（主体性）、		65%	15%
【ディプロマ・ポリシー③】				

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPに準じています。

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○基本情報		
授業の目的	社会や企業では、様々な価値観・キャリアを持った人々が連携・協力、意見を交わしながら、仕事を進めたり、問題解決したりするのが通常です。本実習では、チーム活動を行い、社会・地域で必要な人間力、社会人基礎力（特にチームで働く力の基礎）＝ジェネリックスキルの向上を図ることを目的に、地方自治体（大分県、大分市）の身近な政策課題に対してチームで課題の整理や根拠のある提案などに取り組みます。本実習を通じて、人間関係形成能力を確固たるものにしていきます。 【キーワード】 ジェネリックスキル（コンピテンシー能力、リテラシー能力）、社会人基礎力、チーム活動、交流、コミュニケーション力、役割分担、思いやり、時間管理、プレゼンテーション、文章力、地方創生、データサイエンス	
授業の概要	効果的にジェネリックスキル（コンピテンシー能力、リテラシー能力）を高めるため、原則学部を超えた2クラス合同でのワークショップを8回実施(発表等を含む)します。 ここでは、提示された地方自治体の政策から興味ある政策を選択し、自分たち若者が政策に関わっていくための具体的な提案をチームで行います。活動を通じてコミュニケーション能力を向上させたり、役割分担や時間管理による規律性などを向上し、コンピテンシー能力の向上を図ります。 また、自治体の政策や若者の関わりについて、現地調査や図書館・インターネットでの情報収集、情報分析を行い、政策提案する前提となる課題を発見します。その上で実行可能な提案を考え、それを企画書及び最終発表によるプレゼンテーションにつなげリテラシー能力の向上を図ります。「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（MDASHリテラシーレベル）」として、自治体から提供された実データを使用し、データを適切に扱い、説明する力を養います。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「実験・実習形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「PBL（課題解決型学習）」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	クラスにより、実務経験のある教員が担当し、教員自身のキャリアや業務経験を踏まえた授業を実施します。	

○その他

ワークショップでは、成果物としてチームで企画書（レジュメ）の提出と最終の口頭発表を求めます。企画書作成方法など不明な点は、授業時間外でも都合の良い時間に遠慮なく質問して下さい。また、授業時間外の企画書・パワーポイント作成、ワークショップなどは、人間力育成センター多目的ルーム(1号館1階)やアクティブラーニング室(4号館1階)などの学内施設を活用して下さい。
都合により、授業の順序、進度が異なる場合があります。

・ワークショップでの成果の善し悪しは問いません。過程を重視します。そのため、出席するだけでは単位修得できません。
・週によっては授業時間内に講義室外へ出る場合がありますので、絶対に遅刻をしないで下さい。また、ワークショップで講義室外へ出るときは、担当教員の許可を得るとともに、安全に注意して下さい。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	社会参画実習（Practice in Social Participation）	授業コード	A033671
	担当教員	矢野　達也		

学修内容

1. 担任授業（1） ■ガイダンス　■担任活動　■履修再指導		
予習	シラバスを熟読し、授業の目的、概要等を理解する。履修登録内容の確認。	（約2.0h）
復習	履修登録の確定	（約1.0h）
2. 担任授業（2） ■プレゼンテーションの基本スキル		
予習	教科書第11章の予習	（約1.0h）
復習	教科書第11章の復習	（約1.0h）
3. 担任授業（3） ■わかりやすいプレゼンテーションのために		
予習	教科書第12章の予習	（約1.0h）
復習	教科書第12章の復習	（約1.0h）
4. ワークショップの概要説明 ■地方自治体（大分市等）の政策　■ワークショップの概要　■課題テーマ出題		
予習	大分市・県の政策課題を調べる	（約1.0h）
復習	配付資料の復習	（約1.0h）
5. 担任授業（4） ■テーマ選択　■班編成　■事前評価シート記入　■情報収集方針の確認		
予習	情報収集	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
6. ワークショップ（1） ■情報共有　■活動方針決定　■役割分担の決定		
予習	情報の整理及び追加収集	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
7. 大分県・市出張講義 ■出張講義の受講		
予習	情報の分析及び追加収集	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
8. ワークショップ（2） ■フィールドワーク（情報収集）		
予習	情報の分析及び追加収集	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）

○授業計画	科 目 名	社会参画実習（Practice in Social Participation）	授業コード	A033671
	担当教員	矢野　達也		

学修内容

9. ワークショップ（4） ■情報分析・課題発見　■企画アイデア整理　■中間報告 ※自治体が提供する実データを使用し、加工や解析から推論を立てること。（MDASHリテラシーの「データを扱う」分野）		
予習	企画の整理及び追加情報収集	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
10. ワークショップ（5） ■企画の方向性の決定　■情報再分析・課題整理　■企画書の作成　■口頭発表準備(パワーポイントの作成) ※自治体が提供する実データの加工や解析結果等を他者に分かりやすく説明することを意識すること。（MDASHリテラシーの「データを説明する」分野）		
予習	企画書・パワーポイントの作成	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
11. ワークショップ（6） ■企画書の作成・提出　■口頭発表準備(パワーポイントの作成・発表練習) ※自治体が提供する実データの加工や解析結果等を他者に分かりやすく説明することを意識すること。（MDASHリテラシーの「データを説明する」分野）		
予習	パワーポイントの作成、発表練習	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
12. 成果発表会 ■全チームによる成果発表会　■代表チームの選出 ※自治体が提供する実データの加工や解析結果等を他者に分かりやすく説明すること。		
予習	発表練習	（約2.0h）
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
13. 全体成果発表会【全体授業】 ■代表チームによる発表 ※各テーマの自治体部局の担当者が出席予定です。		
予習	発表内容の修正、発表練習(代表チーム)	（約2.0h）
復習		
14. プレースメントテスト ■プレースメントテスト　■社会人基礎力・地方創生人材に関する自己評価		
予習		
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
15. 担任授業（5） ■振り返り　■振り返りシートの記入　■面談　■受講アンケート		
予習		
復習	報告書記載内容の整理	（約1.0h）
16.		
予習		
復習		